

じんけん
ちょっと知っ

トク
得

「みんなでつくる 住みよきさぬき市」を目指して ～7月は「社会を明るくする運動」全国強調月間です～



すべての国民が、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築くために法務省主唱の全国的な運動です。

さぬき市には更生保護女性会員が
143人活動しています。

更生保護ボランティア
としての直接的支援

さぬき市
には20人
が活動し
ています。

保護司

BBS会
更生保護女性会

活動参加

刑務所作業
製品を
購入する

“社会を明るく
する運動”
に参加する

地域社会に復帰

立ち直りの
見守り

存在の
受け入れ

地域の人たちの
理解と協力

協力雇用主

支援

協力雇用主になる

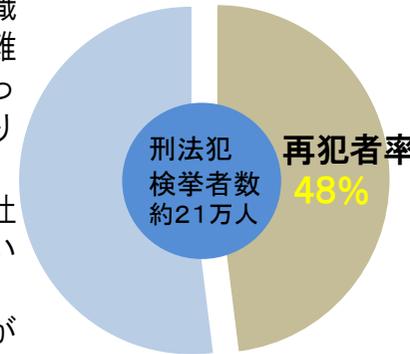
さぬき市にも16社
あります。

再犯者率48%、それはなぜ？

平成30年の一年間に刑法犯で検挙された人の数はおよそ21万人。このうち48%は再犯者、つまり2人に1人は事件を繰り返している人です。再犯者は、出所後に、社会における「仕事」、「住居」がなく、経済的に困窮したり、社会的に孤立したりして、再び犯罪に及ぶという悪循環に陥っている現状があります。

刑を終えて出所した人やその家族に対する偏見や差別は根強く、就職に際しての差別や住居の確保の困難等、社会復帰を目指す人たちにとって、現実には極めて厳しい状況にあります。刑を終えて出所した人たちが、地域社会の一員として円滑な社会生活を営むためには、本人の強い更生意欲と併せて、家族はもとより、職場、地域社会の理解と協力が不可欠です。

刑法犯検挙者数



再犯を防ぐために

更生保護ボランティア

「更生保護」は、社会の中での立ち直りを導き、助け、再び犯罪や非行に陥るのを防ぐ仕組みです。その活動には、保護司や協力雇用主をはじめ、たくさんの人たちが関わっています。

信じてくれる人がいること。必要とされる場所があることなど、社会の一員としての役割が必要です。それは、更生への大きな支えとなります。

更生保護は、社会に暮らす人たちが広く関わることで達成される取組なのです。

再出発を見守る
社会へ

